

2017
12
No. 160

しゃっきー

特別養護老人ホーム心と園 デイサービスセンター近況報告

■受講生9名が全研修課程を修了
厚岸町市民後見人養成研修

■12月1日から歳末たすけあい運動が始まります

■ニュース&トピックス
「トライベツ大取模祭」ほか

■ボランティアア通信「なかよし」
「検討してみませんか？」
子育ての見方！ファミリーサポート」ほか



しゃっきーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です。



心と園入所者の勝木禎子さん（写真）が施設長室へと制作した作品。折り紙でできた210個の箱が窓枠にはめ込まれスタンドグラスを思わせる。今年の1月から9ヵ月かけてほぼひとりで制作。1つの箱に6枚の折り紙が必要で1,260枚使われています。

特別養護老人ホーム心和園 デイサービスセンター近況報告

利用者の生活環境を改善するために
心和園 今年もベッドが
新しくなりました

心和園では、厚岸町の総合計画に基づいて、利用者が生活する居室環境の改善と整備を図るために、平成27年度から計画的に特殊寝台(電動ベッド)とマットレスを更新しており、今年も特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の活用により、電動ベッド16台とマットレス16枚が整備されました。今まで更新された48台の電動ベッドと同じく、さまざまな機能を有しており、介護を受ける側、介護を行う側にとって有益な物で、居室環境の雰囲気が大きく変化しました。

施設自体は古くても、修繕や利用者に関わる備品の入替えなど、少しずつではありますがありますが、生活環境の改善を進めています。



[左]新しく更新されたさまざまな機能があるベッド

訓練の積み重ねが有事の際に役立つ 心和園・デイサービス 避難訓練を実施

心和園では、今年も2回の防災・避難訓練を実施しました。

1回目は、7月に心和園とデイサービスの合同で、「地震・津波」を想定した訓練として、実際にその日の勤務体制で勤務している職員が、短時間で避難させられるかを検証するために実施しました。

2回目は、11月に火災を想定した訓練として、日中の時間に火災が発生した

ことを想定して実施し、消火設備を使用した放水訓練も実施しました。

避難では、短時間で迅速に職員の数倍の人数を避難させなければならぬことから、施設の立地条件やマンパワー不足が大きな課題となっています。

これからも、毎年訓練を積み重ねて、その訓練内容もステップアップしていくような有事に備えていきます。



[上]11月の火災訓練で、ユニット棟の非常口に避難した入居者たち



デイサービスセンターのとある一日

■デイサービスとは？

利用する方を自宅から送り、入浴、食事、排泄など、日常生活に必要な介護や機能訓練の提供を行っている施設です。

今回は、利用内容の見直しを進めているデイサービスの一日について紹介したいと思います。



[上]お風呂上がりのソフトクリームは格別！

■午前の部々
「おはようございます」と元気なスタッフに迎えられ、サービスの開始です。バイタル測定後は、順に入浴の時間です。その待ち時間は「ぬりえ」や「パズル」など皆さん自由に過ごします。お風呂上がりの「ソフトクリーム」は種類が豊富で、バニラ、ミックス、マンゴー、抹茶、メロンなど数種類から選べます。

■午後の部々
昼食後は、「ミニレク」の開始です。カルタ、トランプ、百寿雀、カラオケ、ペタンクなどを利用でき、自分でやりたいメニューを選択して行います。決められたことを機械的に行うことは違い、積極的に過ごすことを選んでいただくことで、デイサービスでの1日に張りがで、生き生きと楽しく過ごせるようになります。

■スタッフの想い々
デイサービスでは、自由にゆったりさまざまな活動に参加してもらえよう、趣向を凝らしています。気になった方や行ってみてみたい方は、見学もできますので気軽に問合わせください。

■連絡先
デイサービスセンター
白浜4丁目1番地
☎52-3901



[上]本日のメニューは、かしわ蕎麦。料理教室後のお待ちかね「試食タイム」。



[上]最近人気の「厚岸町ふるさとかるた」は、厚岸の自然や観光名所、産業やまつりなどが盛り込まれ、札を探しながら厚岸を堪能できます。



[左]ティーサーバーでは、珈琲、煎茶、レモン水、アップルウォーターと種類も豊富で、各種ホット・アイスが選べます。



[上]大人気の百寿雀。何人か声を掛け合い楽しんでいます。

受講生9名が全研修課程を修了

厚岸町市民後見人養成研修

平成29年度厚岸町市民後見人養成研修の修了式を、11月24日、厚岸町社会福祉センターで行いました。10月26日に開講してから約1カ月間、37時間の講義や施設見学を行い、9名の受講生が本研修の全課程を修了されました。



市民後見人とは

市民後見人とは、弁護士や司法書士などの資格は持たないものの、社会貢献への意欲や倫理観が高い一般住民の中から、成年後見に関する一定の知識・態度を身に付けた良質の第三者後見人等の候補者をいう。(厚生労働省HPより)

本人の法律行為を代理

後見人等は、認知症や精神、知的障がいなどで物事の正常な判断が困難な人に対し、家庭裁判所から選任された個人・団体が、金銭管理や日常生活における契約などの法律行為を代理で行う権利を与えられます。

(図) 市民後見人養成研修の終了後の流れ



研修を修了した後は

本研修を修了後、希望者は市民後見人候補者として登録し、あんしんサポートセンターあつけし(厚岸町社協)の支援を受けながら成年後見活動等を行っていきます。(右図参照)

当センターでは、市民後見人への活動支援を行う後見実施機関の運営や法人と

しての後見人等の受任、日常生活自立支援事業の権利擁護事業を展開しており、登録された市民後見人候補者らも市民後見人としての活動はもちろんのこと、これらの事業の支援員としての活躍も期待しています。

市民後見人と専門職

市民後見人に委嘱する事

案としては、難易度の低い事案、例えば「日常的な金銭管理や安定的な見守り」が中心の事案、紛争性のない事案、必ずしも専門性が要求されない事案」が一般的に想定され、弁護士や司法書士、社会福祉士などの専門職と住み分けがされている場合があります。(詳しくは、あんしんサポートセンターあつけしTEL5217752)

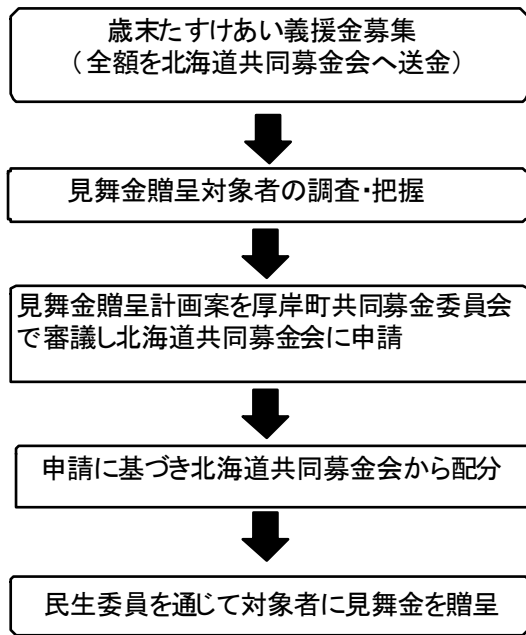
12月1日から 歳末たすけあい 運動が始まります

赤い羽根共同募金運動は、10月1日から12月31日まで全国一斉に運動を展開しています。12月1日からは、「みんなでささえあうあったかい地域づくり」を合い言葉に歳末たすけあい運動が始まります。

この歳末たすけあい運動は、新たな年を迎える時期に、なにかしらの支援を必要とする人たちも、地域で安心して暮らすことができると進めています。

今回は、歳末たすけあい運動のしくみを紹介します。

◆運動の流れ（フロー図）



助成対象と方法

地域のみなさん、団体から寄せられた寄付金全額と前年度からの繰越金を財源に、中立的な立場である厚岸町共同募金委員会審査委員会が対象範囲や1件あたりの見舞金額の審査を行い、全額を、重度の障がいを持つながら在宅で暮らす方々に、少しでも「明るい気持ち」で新年を迎えられるよう、民生委員を通じて、見舞金を贈呈しています。

■運動のしくみ

■運動期間

12月1日から31日までの1ヶ月行われます

■受け渡し期間

担当地区の民生委員を通じて、12月20日以降に予定しています

■義援金目標額

165,000円

■運動の流れ

上のフロー図参照

義援金を受付します

厚岸町共同募金委員会では、12月1日から義援金を受付します。

義援金をいただいた方、団体は社協広報誌しやつきー2月号で事業報告と併せて掲載します。

歳末たすけあい運動に関するお問い合わせがありましたら、厚岸町共同募金委員会（事務局・杉本） ☎521-7752まで連絡ください。みなさまのご支援・ご協力をお願いいたします。



あっけし牡蠣まつりで街頭募金を行いました

10月8日、たくさんの観光客で賑わった「あっけし牡蠣まつり」会場で、赤い羽根街頭募金を行いました。

当日は天候に恵まれ、役職員、助成を受けている福祉団体のみなさんで街頭に立ち、入場者か

ら募金協力をいただきました。

子どもからお年寄りまで、たくさんの方々から協力いただき、この一日で、20,182円の募金が集まりました。

みなさんのあたたかい善意ありがとうございました。



[上] 人気キャラクターも協力



【上】秋晴れのなかパークゴルフをプレイする参加者。

パークゴルフで募金運動 チャリティPG大会

10月1日に、宮園運動公園で、赤い羽根チャリティパークゴルフ大会が行われました。

この大会は、赤い羽根のPRと、チャリティ募金の事業として行っており、当日は男女合わせて42名が募金協力をしながら、爽やかな汗を流しました。

募金箱には46,554円の寄付金が集まり、閉会式では、男女上位5名、福祉(294)賞として24位、29位、42位の方は嬉しそうに景品を受け取っていました。(上位成績は次のとおり)

【男性】優勝：高島一彰、準優勝：菅原眞三、3位：大崎孝、4位：上田幹夫、5位：藤田稔

【女性】優勝：村上美代子、準優勝：百々ヒデ、3位：竹中久美子、4位：河合和子、5位：永堀道子

【下】立位が不安な方も、インストラクターが歩きながら一緒に歩きます。



「ふまねっと」体験 上尾幌自治会サロン活動

10月18日、上尾幌コミュニティセンターで開催された自治会サロン活動では、ふまねっと運動の体験会を行いました。

『ふまねっと』とは、50センチ四方のマス目のできた大きな網を床に敷き、この網を踏まないようにゆっくり歩く運動です。さらにデュアルタスク運動(二重課題)により、網を踏まずに既定のマスを歩くなど複数の課題を同時に行い、脳神経の活動を改善する運動です。

ほとんどの方が初めての『ふまねっと』で、戸惑いがあった参加者も、最後はしっかりした足取りで網に気をつけながら運動に取り組んでいました。

今後、会員自らががふまねっとインストラクターを取得し、地域活動していくのが目標です。



【上】デイサービスで栽培するシイタケの菌床をいただきました。

地域おこし協力隊の協力で デイでシイタケ栽培

「利用者に土いじりを楽しんでもらいたい」、「植物の成長を楽しみに通ってもらいたい」と企画されたデイサービスセンター家庭菜園。その企画会議のなかで「シイタケを育ててみては」との声があり、厚岸町に掛け合ったところ菌床15株を分けいただきました。

職員たちもシイタケ栽培は、初めてだったので、10月25日に地域おこし協力隊の金子さんと田下さんに指導をお願いし、丁寧にシイタケの育て方を教えていただきました。

1週間でみるみる大きくなるシイタケにびっくりしています。地域おこし協力隊のお二人と今後も交流を深め、利用者と一緒に大切に育てていきます。

[ニュース&トピックス] NEWS & TOPICS

☆社協の行催事の他、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします。



[上]どのかぼちゃが一番重いか、参加者全員で予想するトライベツ大収穫祭。

[下]人気菓子の製造工程について説明を受ける参加者。



[上]今年の収穫に大満足の笑顔です。

オークション益金を寄付 トライベツ大収穫祭

第13回を数えるトライベツ大収穫祭が9月24日、地元トライベツ集会所で開かれました。

この収穫祭は、毎年、トライベツ自治会を中心に地域住民が一丸となって開かれるもので、今年は地域の高齢者らの敬老のお祝いも併せて行われました。地元でとれた野菜をいっぱいに使った料理を振る舞ったり、店頭ではお目にかかれない「ジャンボかぼちゃ」の重さ当てクイズ、各家庭のご自慢野菜などのチャリティオークションで大いに盛り上がり、老若男女問わず、たくさんの笑顔があふれていました。

なお、当日のチャリティオークションの益金の一部25,270円を社協に寄付していただきました。

「バスの日」招待ツアー 幕別温泉日帰り旅行

9月20日は「バスの日」。それにちなみ、高齢者などがバスに親しむ事を目的として、釧根地区バス協会から厚岸町老人クラブ連合会が日帰り温泉旅行の招待を受けました。

9月28日は、あいにくの雨ではありましたが、会員30名は大型バスに乗り厚岸町を出発。昼前には音更町柳月スイートピアガーデンに到着しました。

ここでは、柳月の人気菓子が製造される工程を見学し、その後両手いっぱいお土産を購入して、昼食の幕別温泉へ。豪華な昼食と身体の芯から温まる気持ちのよい温泉を堪能しました。

厚岸に到着する頃、あたりは真っ暗でしたが、みなさん一日充実したようで、足取りも軽やかに帰路につきました。

暖かい秋晴れのなか収穫 デイサービス菜園収穫祭

お天気に恵まれた9月26日、デイサービスセンター菜園で、快晴の空のもと収穫祭が行われ、利用者6名と、ボランティア5名が秋の収穫を楽しみました。

ニンジンやジャガイモ、大根などの根菜類が今年は豊作で、「来年はかぼちゃを植えてみたいね」、「今年の大根は大きく育ったね」など、和やかに会話を楽しみながら、皆さん手慣れた手つきでどんどん収穫が行われました。利用者とボランティアたちが笑顔でいっぱい作業する姿をみて、来年もしっかりと取組みを継続していきたいと考えています。

ちなみに収穫した野菜は、すべて心和園とデイサービスセンターの昼食の食材として活用しています。

あっけし子育てサポートセンターだより

通院のため、一時的に預けたい

保育所（幼稚園）までの送迎をお願いしたい

検討してみませんか？

子育ての味方！ファミリーサポート

■ファミリーサポートについて

あっけし子育てサポートセンターでは、厚岸町にお住まいの方で、子供を預けたい方、預かりたい方を会員として、短時間の託児サービスを行うファミリーサポート事業を行っています。会員同士が気持よく支援活動を行えるよう、会員の紹介や交流会も実施しています。

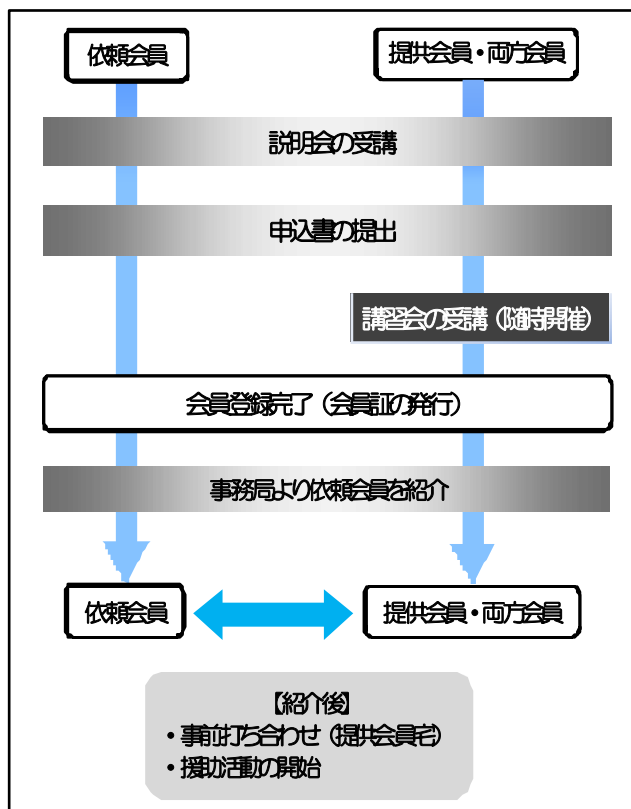
■会員の種類（町内在住の方が対象）

- ① 依頼会員 ～ 生後6ヵ月～6年生までの子供（預ける）をお持ちの方
- ② 提供会員 ～ 20歳以上で健康かつ援助活動に（預かる）理解と熱意のある方
- ② 両方会員 ～ ①と②を満たす方

■登録方法について

ファミリーサポートの概要（登録・活動など）を理解していただくための「説明会」を受講後、「申込書」の提出のより登録完了です。また、提供・両方会員は一定の「講習会」を受講したのち登録完了となります。（右図参照）

■会員登録から援助開始まで



『提供会員』『両方会員』を募集しています。

短時間からできる子育て支援。皆さんの協力が子育て世代を支えます！

■現状は？

9月末現在の会員数は44名で、そのうち提供・両方会員は12名となっています。提供・両方会員の数は、依頼会員の1/2程度が必要だと言われており、この状況だと急な預かりに対応できないという事態が起こる可能性もあります。

■講習会とは？

安心して支援活動を開始するために、提供・両方会員希望の方は「講習会」の受講が必須です。受講内容は次のとおりです。保育士や幼稚園教諭の資格がある方は、免除科目がありますので、問合わせください。

【カリキュラム】

- ① 年齢別発育と病気について（保健師）
- ② 乳幼児の食生活について（栄養士）
- ③ 乳幼児の事故時の応急手当（消防）
- ④ 保育所見学

【受講料金】 無料

【受講期間】 9時～12時までの2日間で、随時開催予定。

【問合わせ先】

あっけし子育てサポートセンター
（厚岸町社会福祉協議会内）

電話：52-7752

担当：柏木



ボランティア活動助成金のお知らせ

【子どもの健全育成支援助成金】

全日本社会貢献団体機構では、少子高齢化が進む中、社会が活力ある豊かな社会となることを目的に、子どもたちの能力向上及び交流を支援するための助成

を実施しています。

この助成対象は、非営利組織で、金融機関に申請団体名義の口座がある団体です。



■助成金額

1団体あたり上限額300万円

■助成対象期間

平成30年4月から平成31年3月までの活動に対して助成されます。

■助成対象事業

子どもの情操発達支援、体力向上支援、療育支援、障がい児との交流、母親の育児支援など

■募集期日

平成29年12月15日まで

■申請方法

ホームページ (<http://ajosc.org/subsidy/application.html>) から申請書をダウンロードできます。

■注意事項

- ・申請事業の総事業費は150万円以上であること
- ・申請団体の人件費、事務所の

賃貸料、水道光熱費を除く

- ・申請額は総事業費の80%以内で設定する
- ・物品購入費、工事・改修費はそれぞれ申請額の20%以内で設定する

■申込み先

〒162-0844

東京都新宿区市谷八幡町16

市ヶ谷見附ハイム103

全日本社会貢献団体機構事務局

電話03-5227-1047

ボランティアセンター登録団体を紹介します ちいさな絵本箱

その3

ちいさな絵本箱は、幼児からお年寄りの方々に読書に親んでもらう機会を提供しようと、絵本や紙芝居の読み聞かせの活動を行っています。

今年度は、定期的に小学校や子育て支援センター等を訪問し、絵本や紙芝居の読み聞かせを行う計画を立て、関係機関の協力を得ながら活動しています。

11月16日には、太田小学校において「もりもりくまさん」、

「やまんばのにしき」の紙芝居と「飼育係長」の読み聞かせが行われ、子どもたちは話に聞き入っていました。

ちいさな絵本箱は、これからもみなさんに読書の楽しさを広げる活動を行っていきます。



【上】太田小学校での読み聞かせ



編集後記

■ 11月24日、厚岸町社協での初開催となった市民後見人養成研修の受講生9名が無事に全過程を修了しました。過密した7日間の日程でしたが、受講した皆さんお疲れさまでした。これからも進む高齢化社会。「支えあい」を合言葉に、皆さんと協力しながら一歩ずつ課題を乗り越えていきたいです。(米内山)

■ 今年もあっという間に1年が過ぎようとしています。デイサービスは、変わっていくことに挑戦し続けた4月からの半年間でした。まだスタート地点に立ったばかり。これからもっと利用者様に来てよかった。また来たい。と思っただけでなくつろぎの場所づくりに励んでいきたいと思えます。(小笠原)

厚岸町社協広報誌

しゃっきー

2017. 12/No. 160

【編集】 広報委員会(以下、委員)
早川 知記 柏木由起子
奈尾 和哉 五十嵐愉美
米内山紘輝 小笠原晶子
杉本 裕樹

社会福祉法人

厚岸町社会福祉協議会

〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地

厚岸町社会福祉センター内

TEL 0153-52-7752

FAX 0153-52-6044

mail info@akkeshishakyo.or.jp

URL http://akkeshishakyo.or.jp/

お知らせ情報 TEL52-7752 FAX52-6044

車いす・福祉用具貸出

帰郷や旅行など「一時的に借りたい」といった場合に車いすや福祉用具を貸し出しますのでご相談ください。

■貸出場所／社会福祉センター

■費用／無料

■その他／事前に問い合わせがあればスムーズに貸し出しできます。

■貸出備品／車いす、入浴用介護用品ほか

寄付・寄贈ありがとうございます(9月～11月)

【寄付金】▼特別寄付(福祉基金)／トライベツ自治会 25,270円〔収穫祭益金から〕、佐藤武志さん 27,352円

【寄贈品】▼心和園 浜野忍さん／紙オムツ、三浦敏男さん／トマト、村上英之さん／か

ぼちゃ、住田セツ子／古布、平良木征夫さん／ダイコン、苦多漁協女性部／昆布・古布、湖南地区あやめグループ(田名部淑子さん)／古布、上尾幌老盛クラブ／ティッシュペーパー

レクリエーション紹介

エピソード⑤

社協では、施設や事業でさまざまなレクリエーションを実施しているほか、遊び方を指導する職員の派遣も行っています。引き続きシリーズで、楽しめるレクリエーションを紹介しします。

『スマイル射的』

名前のおり射的のゲームで、縁日の射的とはルールが少し違いますが、みんなで楽しく笑顔(スマイル)になれるゲームです。

はじめに、木棚にイラストが描かれた的をセットします。

的から1m以上離れた椅子に座り、輪ゴムをひっかけた銃的的に当てて倒します。個人戦やチーム対抗戦でプレイすることができ、どちらが先的に的を倒し終えるか、倒した的に点数を付けて競ったり、さらには、点数当てゲームとしても遊ぶことができます。

用具の準備、運搬も簡単で場所をとりません。自治会等の集まりやサロン活動の際のレクリエーションとして活用してみませんか。

■問い合わせ先

社協総務地域課 ☎52-7752



【左】元氣いきいき教室でプレイする参加者